

特集
平成30年度
予算

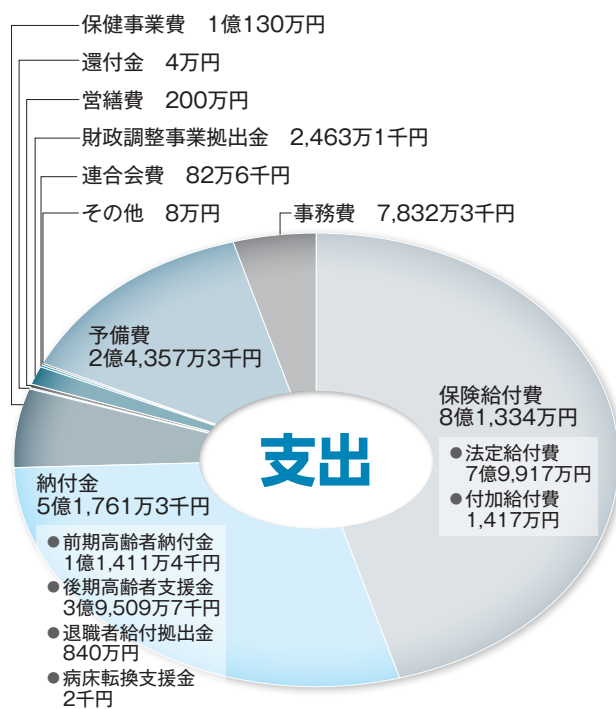
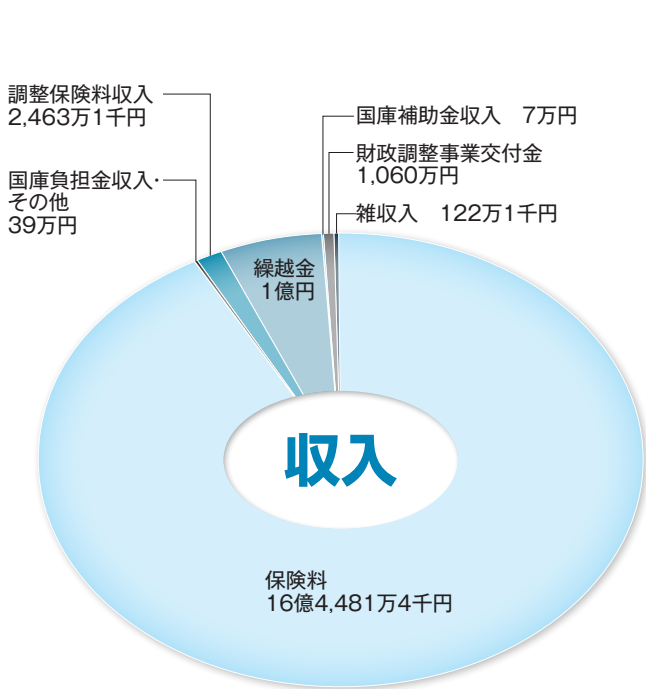
保険給付費・納付金の 負担減少で黒字予算に

平成28年度の全国1399組合における健康保険組合の決算見込みでは、赤字組合は543組合と全体の38.8%におよび、206組合が保険料率を引き上げざるを得ない状況となりました。また、高齢者医療への拠出金負担は、団塊世代の高齢化や後期高齢者支援金の段階的な総報酬割導入などにより増加傾向はとどまることを知らず、これらの要因が今後も健保財政を圧迫するものと予想されます。

このような状況のなか、平成30年度は第2期データヘルス計画、第3期特定健診・特定保健指導が始動するなど、新たな転機を迎えています。当健保組合においても健全で安定的な健保財政の運営に努め、これまで以上に効率的・効果的に保健事業を推進してまいります。加入者のみなさんも各種保健事業を積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

基礎数値	
被保険者数	2,750人
平均標準報酬月額	439,000円
総標準賞与額(年間合計)	4,369,892千円
被扶養者数	2,921人

一般勘定



収入合計	17億8,172万6千円
経常収入	16億4,646万5千円

支出合計	17億8,172万6千円
経常支出	15億1,146万2千円

経常収支差引額 1億3,500万3千円

収入

保険料収入は前年並みで安定

保険料収入は約16億円で、ほぼ前年並みで安定しています。

そのほか、繰越金として1億円を繰り入れて予算編成しています。

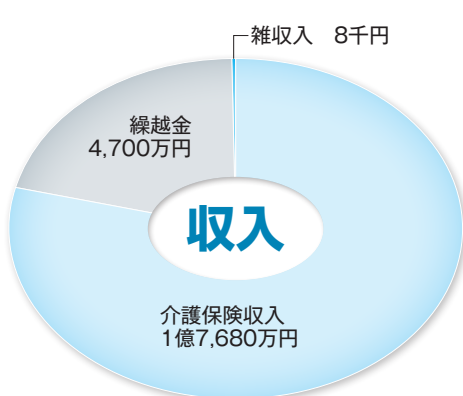
支出

保険給付費、納付金負担は2年連続減少へ

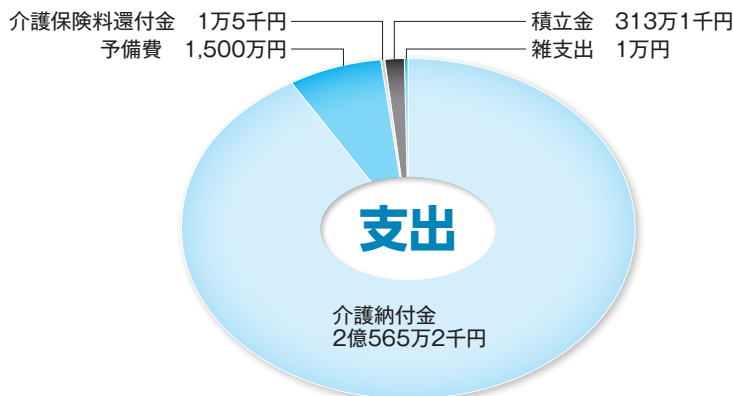
おもにみなさんの医療費に支払われる保険給付費は約8億円で、対前年比89%の減少となっています。

また、納付金負担も対前年比78%の減少となり、約5億円となりました。

介護勘定



収入合計 2億2,380万8千円



支出合計 2億2,380万8千円

平成30年度に実施する保健事業の内容

病気の予防対策

- 各種検査費用の負担および補助
 - 胃健診(定期健診時)
 - 血液検査(定期健診時)
 - 大腸がん検診(定期健診時)
 - HBs 抗原検査(定期健診時)
 - HCV 抗体検査(定期健診時)
 - 特定健診(家族健康診断)・特定保健指導(随時)
 - 子宮がん・乳がん検診(随時)
 - レディース健診(随時)
- 人間ドック費用補助
 - 病院直接支払い補助(随時)
 - 個人受診ドック補助(随時)
- 電話によるメンタルヘルスカウンセリング(随時)

保健衛生の広報

- 被保険者向け「けんぽニュース」をwebにて掲載
- 新入社員向け「社会保険の知識」配布(4月)
- 育児書「赤ちゃん和妈妈」と「1・2・3歳」を出産した被保険者本人・配偶者へ配布(随時)
- 「すこやかファミリー」配布(年6回)
- 医療費のお知らせ(1・4月)
- 家族健診(レディース健診・特定健診・人間ドック・がん検診)案内書の配布(案内書4・10月)

健康増進・リフレッシュのために

- フィットネスクラブ「コナミスポーツクラブ」と契約

公告

一般保険料率および調整保険料率が変更になります

		変更前			変更後		
		一般保険料率	調整保険料率	合計	一般保険料率	調整保険料率	合計
負担割合	事業主	45.210/1000	0.870/1000	46.080/1000	45.410/1000	0.670/1000	46.080/1000
	被保険者	42.110/1000	0.810/1000	42.920/1000	42.290/1000	0.630/1000	42.920/1000
	計	87.320/1000	1.680/1000	89.000/1000	87.700/1000	1.300/1000	89.000/1000
実施(予定)年月日		平成29年3月1日			平成30年3月1日		

※みなさんから納めていただく健康保険料は、一般保険料と調整保険料を合算したものです。調整保険料は全国健康保険組合の共同事業の財源を確保するため、各健保組合が拠出している保険料です。合算された健康保険料率には変更はありません。

組合規約の一部が変更されました

- 第48条(予備費の費途) 介護勘定の予備費予算の運用を行うための変更
- 第49条(準備金の保有方法) 文言の削除を行うための変更
- 第52条(公告の方法) 公告方法の追加見直しを行うための変更